

「水需要管理に向けて」(仮題)の執筆・編集方針 たたき台(V.2)

- ① A4 15 ページ程度
- ② 完成目標時期
- ③ 仮目次の作成と執筆分担

水需要管理に向けて(仮題)

はじめに

第1章 「水需要管理」概念

新河川法の改正の意義 河川環境の整備 利水・治水・環境の統合
供給管理から需要管理 水需要抑制 水源施設の効率的操作管理
水利調整 用途間転用 利水管理者による渇水時の水融通(一時転用)の拡大

第2章 開発行政からの転換

「淀川水資源開発基本計画(フルプラン)」体制
・新規利水計画の見直し、新規事業から上水・工水の撤退と新秩序
・1962(昭和 37)年閣議決定から始まり一定の役割を果たした。いま、新たな河川制度の創設が求められている
・淀川の水需給の均衡ある発展と節水型社会の創世(河川管理の制度改革)

第3章 淀川利水管理の現状と課題

i) ダム群等の水源施設の利水管理

データ重視の管理システムの構築 水需要の精査確認 水利権転用の簡素化
各種水利権とダム利水容量の関係および利水操作管理 ローカルルール
基準点確保流量(計画渇水流量・計画年) 琵琶湖-150cm(-200cm)問題
河川流量データ、残留域流量、上水道・工業用水取水データおよび水収支分析

ii) 治水との関係

夏期制限水位方式のダム操作管理 ダム等の制限水位の柔軟な運用
琵琶湖水位管理(6月16日-20cm、8月1日-30cm)と異常水位低下の関係

iii) 環境との関係

ダム・堰による流水の縦方向の不連続性 高時川等の瀬切れ問題
大堰(大川)維持用水と琵琶湖水位 制限水位と生態系保全
ダム利水容量と下流流量変動 流路の固定と流況の平滑化

iv) 渇水対策

渇水分析 渇水シミュレーション 少雨化傾向・近年の実力低下
渇水対策協議会 利水者間の水融通(一時転用)の簡素化
緊急時のための給水管の相互接続(他都市間の給配水の連続性確保)

第4章 新たな淀川利水管理にむけて

新たな水需要管理の提言
淀川利水における統合管理の改善

おわりに

付属資料